

エアコンを活用した外気処理システム ecowin® AIR

※特許出願中

外気処理による
大自然の中のような
爽快感

既にある
ベランダ側の
窓に
かんたん施工

動力源は
既設の
エアコン
温調して給気

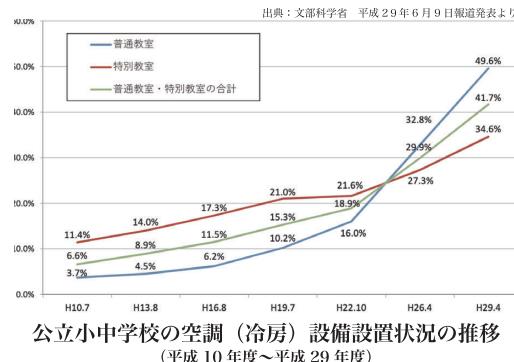
教室に
新鮮な
O₂を
供給します。
酸素

製品紹介ムービーはこちらから▶



1

教室の空気は知らない間に汚れています。



近年はヒートアイランド現象や地球温暖化による気温上昇が著しく、児童の熱中症対策及び安心、安全で快適に学べる環境を確保することを目的とし、**学校施設のエアコン設置が急速に普及し始めています。**

しかしながら同時に換気設備が設置されることは少ないため、空気質の改善はなされておらず、むしろエアコン設置することで窓開け等による換気の機会が減少するため、学校教室内の空気質悪化を助長することが懸念されています。

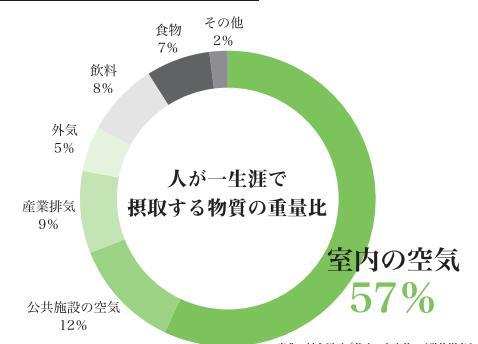
2

人が一生涯に摂取する物質の83%は空気。

近年の研究によると、人が**一生涯に摂取する物質の83%は空気**と言われています。その中でも、「室内の空気」は**57%**と圧倒的な割合を占めています。

室内の空気は、酸素、二酸化炭素などの気体物質や、VOC物質、ほこり、花粉、PM2.5、ダニの死骸などの小さな浮遊物が混じり合っています。

従来の空気清浄機は科学技術が進み、これらの小さな物質を除去することは簡単に行えますが、人が生きていく上で欠かせない「O₂ 酸素」の供給と「CO₂ 二酸化炭素」の排出は、**十分な換気を行わなければ実現できません。**



3

CO₂濃度がもたらす身体への影響。

アメリカ暖房冷凍空調学会(ASHRAE)の発表データによると、室内のCO₂濃度が**1,000ppm**になると軽い眠気を感じるようになり、**2,500ppm**になると健康への悪影響が想定されることがわかっています。

また東京消防庁の提供資料によると、身のまわりのCO₂濃度はかなり混んだ地下鉄車両で**3,800ppm**にまで上昇することがわかっています。

■CO₂濃度と身体への影響

350ppm	外と同じCO ₂ 濃度
450ppm	許容範囲
600ppm	臭いや空気の淀みを感じる
1,000ppm	軽い眠気を感じる
2,500ppm	健康への悪影響が想定される
5,000ppm	8時間まで許容限界とする濃度

ASHRAE(アメリカ暖房冷凍空調学会)資料に基づく

■身のまわりのCO₂濃度

450ppm	東京新宿の路上
700ppm	地下鉄駅の改札口付近
1,100ppm	映画館内
1,500ppm	比較的空いた地下鉄車両
2,800ppm	首都高速道路
3,800ppm	かなり混んだ地下鉄車両
5,000ppm	閉め切った自動車内

東京消防庁提供資料に基づく

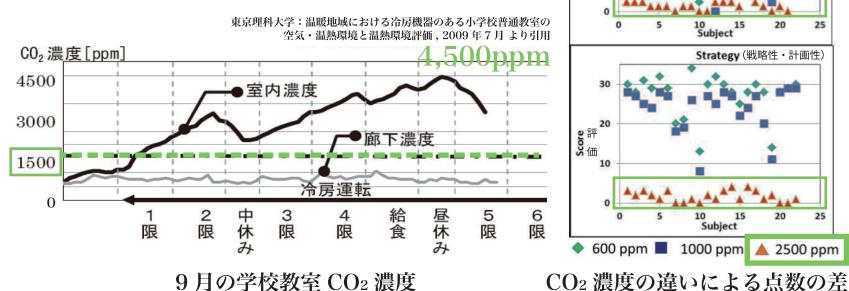
4

汚れた空気と子どもたちの集中力の関係。

40人ほど在籍する普通教室のCO₂濃度は、換気が十分に行えない容易に上昇します。日本の「学校環境衛生基準」での規定では、「換気の基準として、二酸化炭素は1,500ppm以下が望ましい」とされています。

しかし近年の研究によれば、授業開始後数分でこの基準値を容易に超え、お昼休み頃には4,500ppm程度まで到達している現状が明らかとなっています。

2012年に発表されたアメリカの研究結果によると、アメリカ暖房冷凍空調学会の発表データと同じように、CO₂濃度が2,500ppmに達すると集中力や判断能力が著しく低下し、授業中の居眠りが誘発されるなど、子どもたちの知的生産性に支障を与えることが学術的に証明されています。

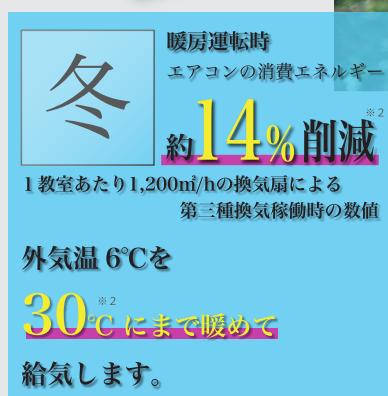


この1台で全て解決! 子どもたちの集中力向上に期待できます。

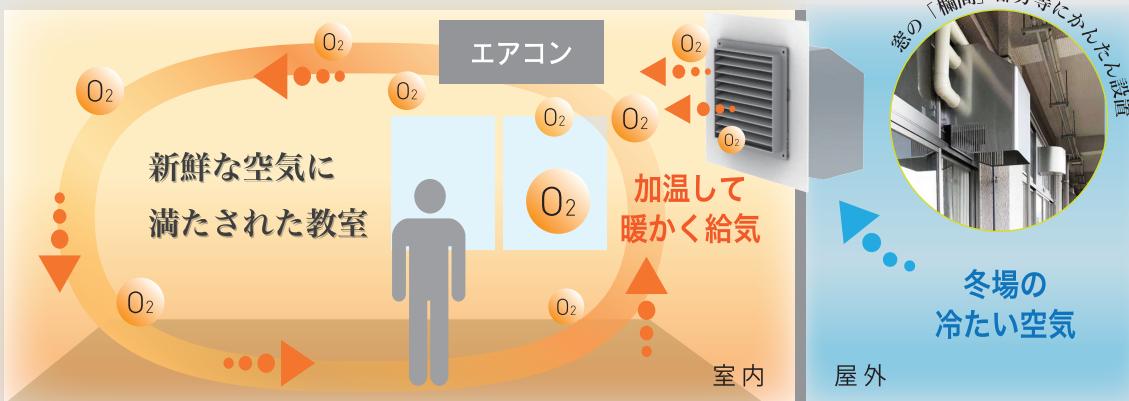


ecowinAIR (自然吸気仕様)
W610×D708×H781

ecowin®AIRは、
大自然の爽快感と
子どもたちを育むに
ふさわしい教室環境を
実現します。



- 既設のエアコンに接続・設置するだけで、かんたんに
加温・冷却・除湿・除塵した新鮮な空気を供給します。
- 厳寒・猛暑の日でも、快温・快湿にして給気し、教室内のウイルス感染を抑制します。
- 既にある空調システムを補助でき、省エネのため電気代の削減にも貢献します。
- 外気中の花粉、黄砂、PM2.5も除去し、メンテナンスも楽にできます。
- 本体は無動力のため長持ちし、耐候性・耐久性が高くシンプルで壊れにくい構造です。



ecowin® by ecofactory
0120-539-666



お問い合わせ先 代理店名